

下水道展'25

大阪

2025年 7.29～8.1

4日間

10:00～17:00

(但し初日 10:30～、最終日 16:00まで)

会場

インテックス大阪

大阪市住之江区南港北 1-5-102

主催

公益社団法人 日本下水道協会

後援

国土交通省、環境省、総務省、経済産業省、文部科学省、
全国知事会、全国市長会、全国町村会、大阪府、大阪市、
日本下水道事業団、日本下水道新技術機構、日本経済新聞社、テレビ大阪

協賛

関係約 60 団体

1号館 1-104

福島県会津坂下町他

(全国市町村土壌浄化法連絡協議会)

一般来場者ゾーンで情報発信します！

特定非営利活動法人日本土壌浄化法ネットワーク

副理事長 木村弘子

下水道展は、国内で行われる展示会の中で、下水道事業に関する内容が一番大きな規模になっています。最近では自然災害が多く発生していますので、避難所でのトイレ問題等の関心が高くなっています。

出展は、「福島県会津坂下町他（全国市町村土壌浄化法連絡協議会）」という看板で、一般来場者ゾーンに3小間確保されて情報発信がされる事になりました。場所は1号館で1-104がブース番号です。

特定非営利活動法人日本土壌浄化法ネットワークは、連絡協議会の出展に関して共催者として支援することになっていますが、ブースへの集客のために、ミニくじ引きを行うことになりました。

ぜひご来場ください。最近では下水道展に来場される海外からの来場者も増えてきています。

下水道展'25 大阪 7月30日(水)

出展者プレゼンテーション

2号館 出展者プレゼンテーションセミナー右側会場にて

◆12:05~12:30

小規模下水道を可能にする土壌浄化法の技術と具体事例

- ・あいさつと小川村の事例

長野県小川村県代形で、日本下水道事業団が発注した土壌浄化法第一号

特定非営利活動法人日本土壌浄化法ネットワーク 理事長 久田 文人

- ・鹿児島県南九州市知覧中央浄化センターの事例

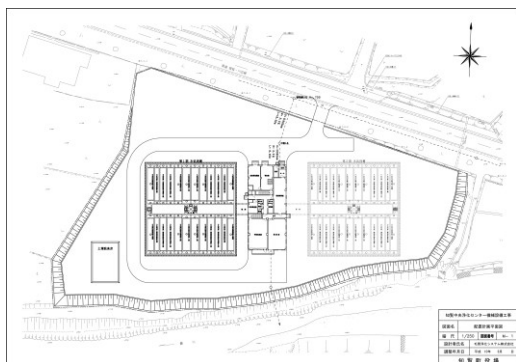
鹿児島県南九州市知覧町で決まっていた事業認可を土壌浄化法に変更する

一下水道料金 90 円/m³ でスタート現在 110 円の徴収で維持管理を行い残った金額は起債の返還に充当—

鹿児島県南九州市副市長 江平 恒博

知覧中央浄化センターの全体計画図

(3200 m³/日)



全体計画から規模を縮小して事業が完了

(2400 m³/日)



- ・2年で完成する小規模下水道・ブータンゲルスン学園1000 m³/日の規模で実現

特定非営利活動法人日本土壌浄化法ネットワーク 副理事長 木村弘子

◆12:55~13:20

福島県会津坂下町下水道事業について

福島県会津坂下町建設課上下水道班 施設係長 大堀 利文

坂下西浄化センター



(1,400 m³/日 平成 5 年)

坂下東浄化センター



(700 m³/日 平成 16 年)

坂下中央浄化センター



(800 m³/日 平成 25 年)

会津坂下町他全国市町村土壌浄化法連絡協議会にて

ミニくじ引きを開催

下水道展の一般来場者ゾーン1ー104のブースで、会津坂下町他全国市町村土壌浄化法連絡協議会という看板を掲げて、下水道フェスティバルの時に行っているくじ引きを開催します。

景品は、「あいづこしひかり」のお米やおきあがりこぼし等の郷土品、知覧からは知覧茶のペットボトルを準備しました。会津坂下町には、高級スパイスで有名な「ほりにし」の「ご当地ほりにし」があります。1等と2等には、それが入っています。

ミニくじの景品は、特定非営利活動法人日本土壌浄化法ネットワークが土壌浄化法を普及する事業として、分担しています。景品に限りがありますが、ぜひお越しください。

下記の写真は、新型コロナが発症する前に行われていた、会津坂下町の下水道フェスティバルのものです。



会場

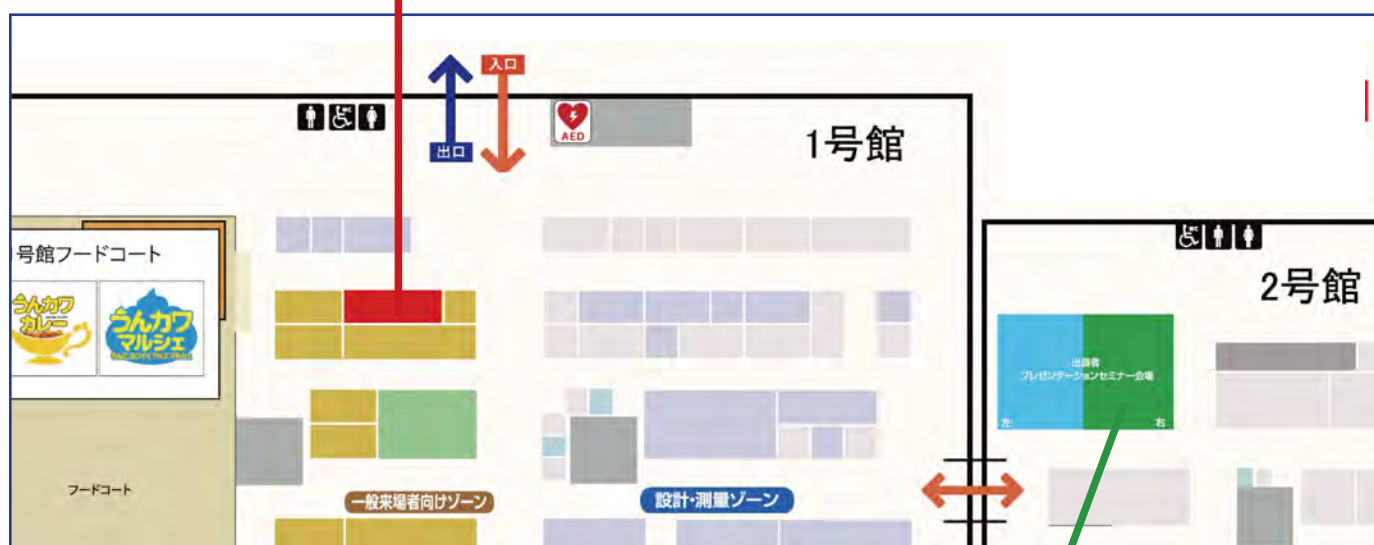
インテックス大阪

大阪市住之江区南港北 1-5-102



1-104

会津坂下町 他（全国市町村土壌浄化法連絡協議会）



出展者プレゼンテーションへ登壇